

令和 3 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	駐輪場管理運営事業	会計名称	一般会計		担当課	経済雇用戦略課	
		予算科目	7 款 1 項 1 目	事業番号	3090	所属長名	小笠原幸男
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	池富隆博	
法令根拠等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律				実施期間	【開始】	令和/平成 18 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 活力ある商業・工業の振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	通勤労働者の利便性や商店街への集客環境を充実することにより、商工業の振興に繋げる。						
事業の対象	J R利用者 ほか	事業の目的		J R 駅周辺の整備と環境美化			
事業の内容 (整備内容)	J R 駅 (伊予市駅・鳥ノ木駅・南伊予駅・中山駅・上灘駅・下灘駅) の周辺環境美化及びトイレ清掃並びに駐輪場の整理、放置自転車の撤去		昨年度の課題に対する具体的な改善策				

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3 年度予定	9月末の実績	3 年度実績
直接事業費	5,013	4,735	0	0	0	4,467	J R 駅の整理等業務委託数	施設	7	7	7	7
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	5,013	4,735	0	0	0	4,467						
職員の人工 (にんく) 数	0.30	0.00				0.00						
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	7,357	4,735				4,467						
主な実施主体	伊予市駅<シルバー人材センター> 他		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		管理委託料 (3,466千円)							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	5年間の合計		
					4,400	4,400	4,400	4,400		17,600		
成果指標	指標	放置自転車数	単位	台	⇒	区分年度	前 年度	3 年度	4 年度	目標	毎 年度	
	指標設定の考え方	駅前広場等の良好な環境を確保し、その機能低下を防止する必要があると認められるときは放置自転車等の撤去等に努めなければならないため。				目標						
	指標で表せない効果	放置自転車の現状を把握し、必要に応じて適切に処分することで、JR駅周辺の景観を維持するとともに、割れ窓理論等で例示される軽微な環境悪化を放置しないことによる犯罪抑制及び周辺環境維持に資する。				実績						

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)											
事務事業の 評価	自己判定 (担当責任者) 一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	昨年度実施したJR鳥ノ木駅駐輪場屋根の材質変更の結果、今年度は例年と比較して修繕件数が抑えられた。同様に、JR伊予市駅前駐輪場の誘導サインを整備したことにより、利用者にとって分かりやすい施設にすることができた。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
			事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
		効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		JR周辺の駐輪場は管理者が常駐しておらず、利用者のマナーやモラルに依存した運営となっているが、一部の心無い利用者によるものと思われる施設の破損等も散見されるため、メッセージボードの設置や広報紙を活用した啓発を通し、マナー向上に向けた取組みを行いたい。	
			コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
			市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
			目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) JR利用者の利便性向上、施設周辺の環境美化を図るため、事業の継続は必要であると判断する。				
	成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
	施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4							
	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4							
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
所属長の課題認識	所属長の課題認識	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	JR関係者や駐輪場管理者と情報共有を図りながら、適切な管理運営に努める必要がある。			
		社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	